岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　畠敷地区　急傾斜地崩壊対策事業に伴う業務委託（交付金）

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　その他　構造物基礎

ボーリング名	R2B-3	調査位置	広島県三次市畠敷町			北緯	34° 48' 48.8392"
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	令和2年10月 8日～ 令和2年10月 9日			東経	132° 52' 22.6729"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 158.64m	角度	180°上 90° 下 0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機 D1型
総削孔長	7.00m								エンジン：ヤンマーTF120M　ポンプ：東邦製BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
1				シルト混じり礫混じり砂	茶							(100)	崖錐堆積物。細～中砂主体。礫は2～50mmの角礫を主体とする。一部、亜円礫を含む。植物根を混入する。	10/8 2.30		5	1.15	5													
2												(100)					1.45	300													
	155.84	2.80										(100)				4	2.15	4													
3				礫混じり粘土	茶褐灰							(100)	粘土を主体とするが、φ20～30mmの角礫を全体に混入し、不均質な状態。				2.45	300													
	154.74	3.90														1	3.00	1													
4				粘土混じり礫質砂	茶							(100)	細～中砂主体。礫は2～30mmの角礫を主体とする。全体に細粒分を混入する。GL-4.5～4.6m間、細粒分増加。				3.40	400													
	153.64	5.00														17	4.15	17													
5																	4.45	300													
																50以上	5.00	50	180				10/8								
6				安山岩	青灰	w4	h2	C	V	b	D	(100)	基盤岩。5.00～5.75m間、主に礫状コアとして採取される。DH級相当。GL-5.75m以深、岩片状コアを主体とする。岩片は硬質であるが、コア肌組く亀裂に富む。ハンマー打撃で鈍い金属音を発する。				5.18	180													
						w3			IV		CL	(100)				50以上	6.00	貫入不能					40	66	D/DC	200	200	0	W2/2	2
7	151.64	7.00														50以上	7.00	貫入不能					10/9								
8																															
9																															
10																															
11																															
12																															

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
10/8	70	66／ケーシング	S／MC	100	70	0	W2/2	2
10/9	40	66	D／DC	200	200	0	W2/2	2